

Terado Omaki

X

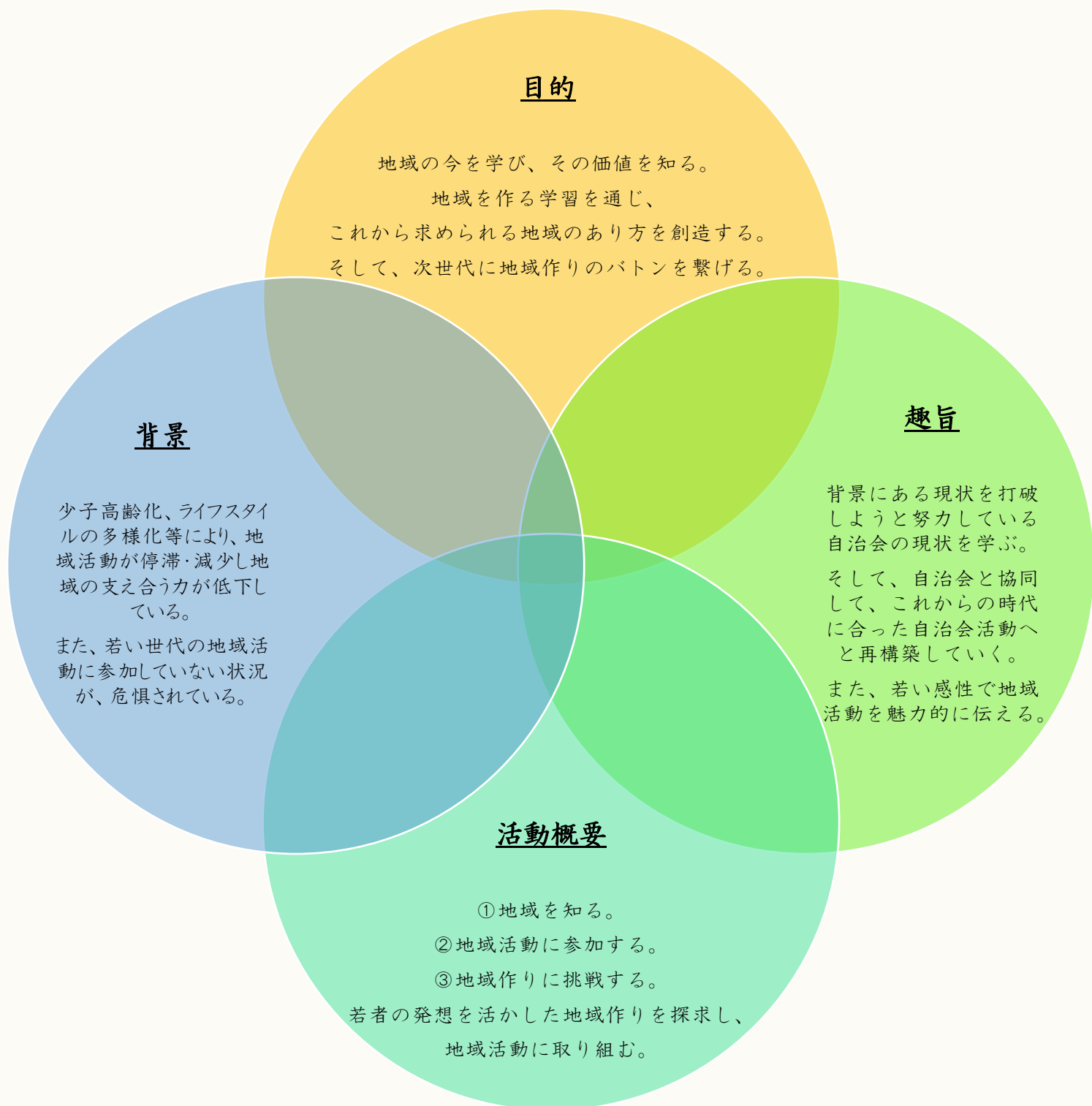
Ritsumeikan

変化する日本
変化する生活
変化する私達

寺戸大牧における若者の挑戦から紐解く、
これからの地域の形。

2019

インターンシップ（プロジェクト）のテーマ 若者の発想を活かした地域作りプロジェクト ～未来に伝えよう！地域の繋がり～



学生の学びの場としてだけでなく、
学生や地域の様々な人の意見や提案等を尊重しながら、
地域の学びの場作りも目指す。

目次

地域を知る。

04……挨拶／地域歩き／自治会の歩み

05……地域課題探求インタビュー

地域活動に参加する。

06……夏祭り

07……古紙回収

地域作りに挑戦する。

08……敬老企画『寺戸大牧敬老の日大作戦2019』

11……防災企画『一心』

14……企画総括

14……他活動

15……総括

インターンシップに参加した学生の紹介

リーダー 立命館大学工学部電気電子工学科3回生 河村 和輝
メンバー 立命館大学工学部電気電子工学科3回生 佐野 優太

Terado Omaki × Ritsumeikan 2019

2019年11月発行

編集・デザイン 河村 和輝

文 河村 和輝、佐野 優太

写真 木下 博史、中山 尚子、河村 和輝、佐野 優太 他

発行 社会福祉法人 向日市社会福祉協議会

地域を知る。

挨拶／地域歩き／自治会の歩み



実際に寺戸大牧地域を歩くことで、活動を行う地域の大きさであったり、夏祭りが行われる場所や企画を行う場所を確認しました。

挨拶

アイスブレイクでは、ペーパータワーゲームや、人の手助けについての実践ゲームを行いました。

手助けする側の立場だけでなく、自分がその立場の人になって考える重要性を学びました。

地域歩き



この寺戸大牧地域では、少子高齢化により、子供会がなくなっていました。昨年度のインターンシップ生の成果により、子供会が復活しました。

今年度の取り組みによって、子供会が更に認知され、大きくなるように頑張りました。



自治会や自治会館の成り立ちについて、学びました。

ライフスタイルの変化に伴い、地域の繋がり的重要性が問われる中、昔自治会館を建てた人の想いや協力もあり、自治会館の建て直しを実現したそうです。



河村和輝

寺戸大牧自治会の皆さんの地域を盛り上げたいという熱意がとても伝わってきました。昨年度のインターンシップ生とは違う、新たな風を寺戸大牧地域に吹かせられるよう、私達の地域活動への関心意欲が高まりました。

佐野優太

はじめの挨拶では、とても緊張してガチガチでしたが、自治会の役員の皆様も社協の木下さんも、とても優しく温かくて、いい意味で気兼ねなくお話ができました。寺戸大牧地区の歴史や現状を知る一日となりました。

自治会の歩み



地域を知る。

地域課題探求インタビュー

この度は、地域課題探求インタビューにご協力頂き、誠にありがとうございます御座いました。



高齢者宅訪問インタビュー



高齢者宅訪問インタビュー



若い世代へのインタビュー

高齢者訪問インタビュー結果／一部抜粋

表1. 性別

性別	男性	女性
人数[人]	2	5

表2. 年齢

年齢	70代	80代
人数[人]	(女)4	(男)2(女)1

表3. 居住年数

居住年数[年]	45~50	51~55
人数[人]	(男)2(女)4	(女)1

○地域で暮らしていて心配なこと、不安なことはありますか？
 お金/移動手段/家事/健康/災害
 特になし

○自治会館であったら良い取り組みがあればお聞かせください。
 特になし

(出来ることは参加している/様々な行事に参加できて嬉しい/
 仕事を終わったら利用したい)

若い世代へのインタビュー結果／一部抜粋

表1. 性別

性別	男性	女性
人数[人]	8	11

表2. 年齢

年齢	10代	20代	30代	40代	50代
人数[人]	(男)1	(女)1	(男)6(女)8	(女)2	(男)1

表3. 居住年数

居住年数[年]	0~5	6~10	26~30	36~40	他地域在住(未回答)
人数[人]	(男)3(女)6	(男)2(女)2	(男)1(女)1	(男)1(女)1	(男)2(女)1

『世代を超えた関わりの希薄化』

○地域で暮らしていて心配なこと、不安なことはありますか？

少子高齢化
 (子供のいる世帯の流出/子供のイベントの減少) 《地域の持続性低下/向日市の衰退》
 生活環境
 (見通しの悪い道が多い/道が狭い/夜が暗い/竹やぶが多い) 《子供が危ない》
 特になし

○地域の繋がり作りのために、地域で取り組んだほうが良いと思うこと、
 または自治会館でやってみたら面白そうなことがあればアイデアをください。

子供に関すること
 (イベント/習い事/子供を短期間預かってくれる仕組み/子供会をもっと活発にする等)
 世代交流に関すること
 (イベント[趣味の共有や発表会、情報通信機器講座等]/外から誰かを招く取り組み/
 スマートフォンを用いたコミュニティ作り(回覧板の連絡等)/高齢者訪問システム等)
 特になし

河村和輝

寺戸大牧地域に住んでいない学生だからこそ聞ける、地域住民の生の声を聞くインタビューを行って良かったです。地域の課題を知り、私達の企画立案に繋がりました。その後の自治会運営の面でも、結果が役立てていただける様に、役員の方と、共有しました。

佐野優太

このインタビューで地域の現状を生の声で聞けて良かったです。インタビュー結果を基に寺戸大牧地区のこれかについて深く考える良い機会となりました。

地域活動に参加する。

古紙回収



古紙回収の役割

- ①地域作り
- ②財源作り
- ③環境保全 等

毎月第二火曜日と
最終日曜日に
古紙回収を行っています。

河村和輝

「『ありがとう。』と言われるから古紙回収をやるのではない、古紙回収を行う事で『ありがとう。』が付いてくる」という話が印象的でした。夏場の暑い時期ということも有り、とてもハードでしたが有意義な時間を過ごす事が出来ました。

佐野優太

役員の皆様とご一緒に寺戸大牧地区中の古紙を集めて回り、とてもいい運動になりました。その中で、地域の皆様とお会いする機会があり、お話することができて、私たちの存在をより多くの人に知っていただけたいと思います。

地域活動に参加する。

夏祭り



お念仏（来迎寺）
紙芝居



お楽しみ広場



お楽しみ会



ハウバリウム作り

事前に、ハウバリウムの作り方
についてレクチャーを受け、
このコーナーを担当しました。



ビンゴ大会



河村和輝

運営という立場から関わるだけでなく、盆踊り等に、住民の一人として、参加しながら活動を行いました。輪になり、大牧ハッピーチルドレンの歌を子供から高齢者迄、踊りながら歌っていた場面が、心温まる一時でした。地域のこれから目指す先が、垣間見れた気がしました。

佐野優太

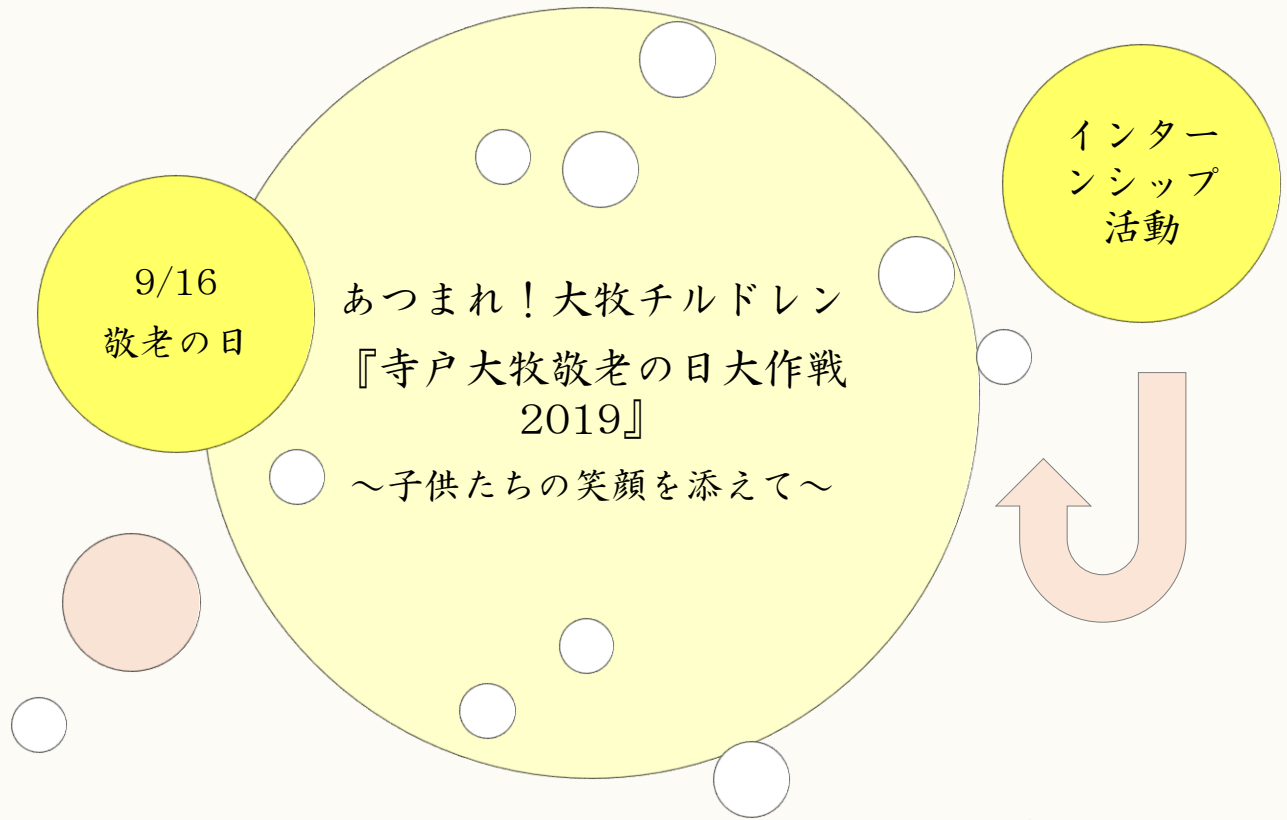
お越しになった皆様が、楽しんでハウバリウムを作っている姿を見て、こちらまで楽しい気分になれました。盆踊りでは、私達も参加させていただき、寺戸大牧地域の一体感を肌で感じる事ができました。また、地域の皆様とゆっくりお話しする機会もあり、大変楽しい一日でした。

盆踊り



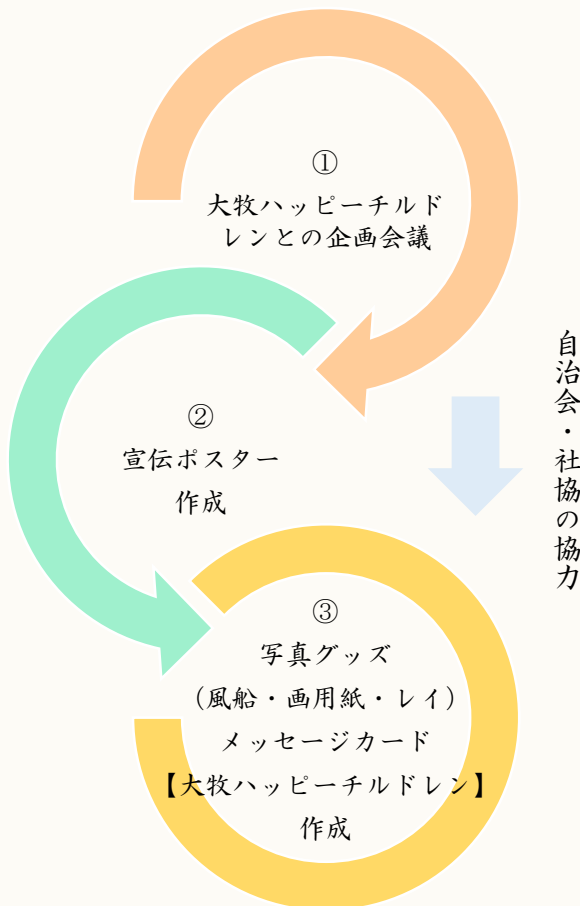
地域作りに挑戦する。

敬老企画『寺戸大牧敬老の日大作戦2019』



↓敬老企画宣伝ポスター

～企画実現に向けて～



今年もやります！
後日、自治会で申し込みを受け付けます。

あつまれ！大牧チルドレン
「大牧敬老の日大作戦2019」
～子供たちの笑顔を添えて～

開催日：9月14日（土）
※雨天決行
開催時間：15時～
集合場所：大牧自治会館
内容：高齢者の方々への日頃の感謝を子供たちと一緒に伝えに行きます。
是非親子で一緒に参加しませんか？
活動後にパーティーも有！？

主催：寺戸大牧自治会
企画運営：立命館大学インターンシップ生・大牧ハッピーチルドレン
協力：社会福祉法人向日市社会福祉協議会

～企画本番～



企画説明
デモンストレーション
チーム交流



出発



訪問&写真撮影
日頃の感謝を伝えます。



お疲れ様
パーティー



～企画本番～

撮影した写真は、後日各世帯に配布しました。



←1班 (班長：河村和輝) ↓3班 (班長：坂本響)



↓4班 (班長：中山尚子)

『寺戸大牧敬老の日大作戦2019』



←2班 (班長：佐野優太) ↓5班 (班長：畠中才永美)



地域作りに挑戦する。

防災企画『一心』



(表)

寺戸大牧地域 防災ワークショップ

一心

「防災に絡めた企画による子供・高齢者、あらゆる世代の交流の実現」
～防災に関する知識を身につけると同時に、地域の絆の強化を目指して～

開催日: 9月28日(土)
※雨天決行
開催時間: 10時～12時
開催場所: 大牧自治会館
内容: 裏面記載

主催: 寺戸大牧自治会
企画運営: 立命館大学インターンシップ生
協力: 大牧ハッピーチルドレン・社会福祉法人向日市社会福祉協議会

↑ 防災企画宣伝ポスター

(裏)

一心

多くの人々が心を一つにすること。

【メインテーマ】
「防災に絡めた企画による子供・高齢者、あらゆる世代の交流の実現」
～防災に関する知識を身につけると同時に、地域の絆の強化を目指して～

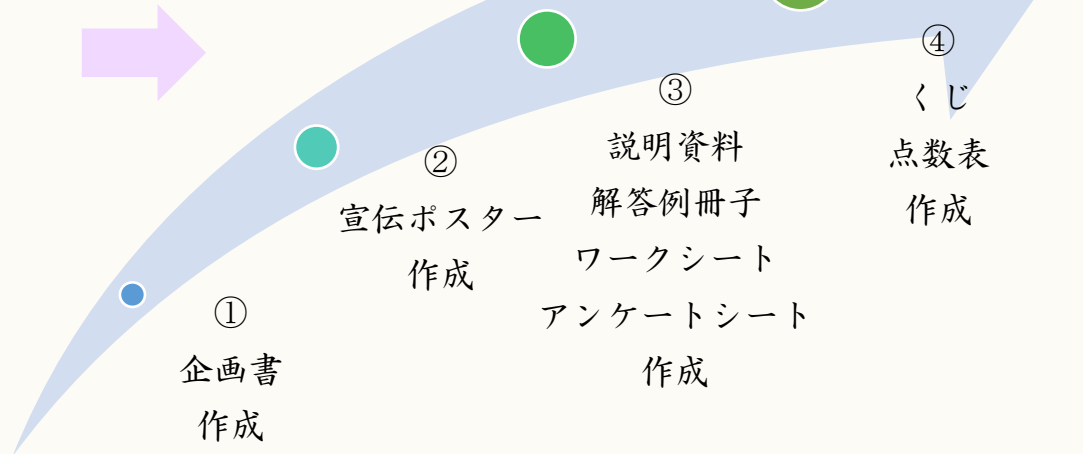
【企画内容】
グループで企画に取り組みます。

- ① 企画説明
- ② 防災グッズ選び
優先すべき防災グッズは何なのか！？
- ③ 防災クイズ
全問正解なるか！？
正解したら1ブロック進みゴールを目指す等のアクション付き！
- ④ 結果発表
②・③の総合ポイントにより、順位付けを行い表彰する。
(景品有)

内容に関して、変更が生じる場合がございます。
ご理解お願い致します。

～企画実現に向けて～

自治会・社協の協力



↑チーム分けの為のくじ

↓説明資料／企画内容ページ抜粋

(i) 防災グッズ選び [30min]

① 75個の品名が書かれた紙を配布します。

② チーム毎に相談し、25個防災グッズを選び、防災バッグ（非常持ち出し袋）を作ります。
右端の回答欄に25個「○」をする。 [30min]

※ 結果はクイズ後の結果発表の際に行います。

1問10点満点の250点満点です。

まずは自己紹介から！
チーム名をきめてね。

ヒント

防災グッズには三段階あります。
常に持ち歩きたい「0次」の防災グッズ
非常持ち出し品「1次」の防災グッズ
備蓄しておきたい「2次」の防災グッズ

5

(ii) 防災クイズ [50min]

① 部屋の端に並んでください。（部屋の長辺側を6分割します。）

② クイズにはチームで取り組んで貰います。

問題は全部で35問あります。1問正解する毎に5点です。（ボーナス問題/最終問題は10点）

間違えたら戻る問題や、
何ブロックも進む問題
があるかも

③ 5問正解したら1ブロック進んで貰います。最初1/6スタート。
（計5問正解で2/6ブロック、計10問正解で3/6ブロック。等）
つまり、最短25問でゴールできる！？

一番最初にゴールしたチームには②のポイントに加え50点、
2番目は40点、3番目は30点、それ以降はゴールに応じて25点

※ （例）クイズ満点200点+1番目にゴール50点=250点

目指せ満点！

6

①企画説明



②防災グッズ選び



③休憩



④防災クイズ



⑤休憩

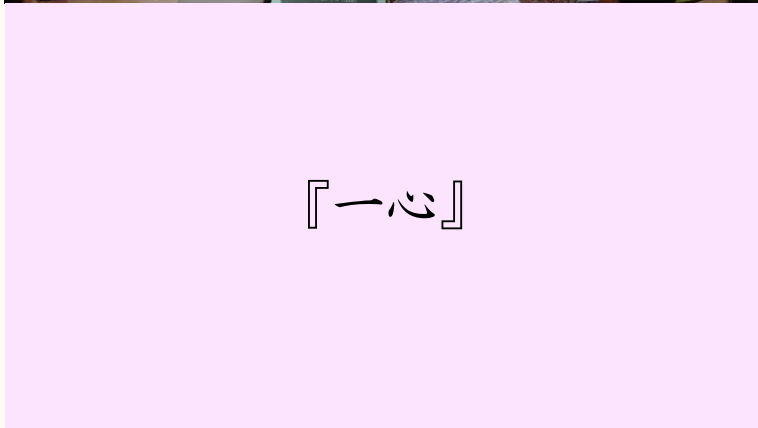


⑥結果発表

アンケート記入
解答例冊子配布
景品配布

②+④の
総合ポイントで競い合う

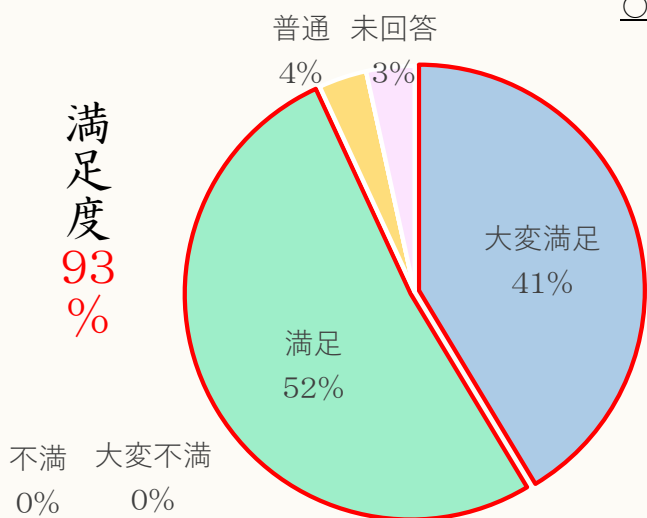
～企画本番～



↑優勝チーム（チーム名：ドラえもん）

アンケート結果／一部抜粋

○今回のイベントのご感想やご意見をご自由にお書きください。



- 楽しかった。
(10歳未満男性／10代女性 他)
- 地域の人たちと一緒に参加でき、楽しかった。
(40代女性)
- 防災のことを楽しく学び、小さい子から高齢者までが交流できて良かった。
(60代男性)
- クイズの工夫された形式が良く、楽しかった。
(30代女性／40代女性／80代女性)
- チームで相談できるのが良かった。
(40代男性)

○『一心』の内容について総合的に満足いただけましたでしょうか？

企画総括

『寺戸大牧敬老の日大作戦2019』

趣旨

いつも地域を温かく見守ってくださっている高齢者のお宅に、子供達が主体となり訪問することで、敬老の日をお祝いし、日頃の感謝の意を伝える。

→ 互いの認識の強化／地域の絆の強化

46世帯（73人）訪問

河村和輝

活動を行っている時、涙ぐんで喜んでいる高齢者の方の姿も見れて、企画した私達も嬉しかったです。子供達が自ら作製したメッセージカードを渡すことで、達成感を感じることが出来たと思います。双方にとって良い取り組みとなりました。

佐野優太

高齢者宅に訪問させていただき、お祝いをさせていただきました。私の班では、事前に子供達と一緒に礼の言葉を考え、その言葉をお贈りする練習をしました。おじいちゃん、おばあちゃんに日頃の感謝の気持ちをお伝えできました。



『一心』

趣旨

向日市防災訓練の日に、防災に絡めた企画を行い、子供・高齢者、あらゆる世代の交流の実現を図る。
→ 防災知識の獲得／地域の絆の強化

参加者31人（大人：17人／子供14人）

河村和輝

『一心』の取り組みは企画書の作成から当日の動きに至るまで、学生が考え、協力を得ながら、活動を行いました。事前準備が大変だった中で、当日上手いくか不安でしたが、参加した多くの方に喜んでいただき、目的も達成できたので本当に良かったです。

佐野優太

私達学生が一から考えた企画であり、司会進行も自分達で行いました。成功するか心配のまま企画を始めましたが、小さい子供達から高齢者迄、楽しそうに防災ゲームに参加していただきました。「良い勉強になった。」という言葉も聞けて、とても嬉しい気持ちになりました。



他活動

1 第2回向日市夏祭り
in イオンモール京都桂川

2 福祉パレット取材

3 京都新聞社取材

総括



1998年8月21日生まれ。
京都府長岡京市出身。

河村 和輝

立命館大学理工学部
電気電子工学科3回生

主に理系の学生や、その中でも理工学部で電気電子工学を学んでいる私にとつて、社会活動は自らの専攻とは直接的に繋がることがほとんどありません。しかし、今社会の直面している問題や解決策、それらを考える行為について、技術の発展等に重きを置く理系学生は関係ないという姿勢でいる事は身勝手であり怠慢です。一つの分野に縛られて周りを見ない状態で社会に出る事は、もの見方が乏しい人間になると考えています。社会問題について主体的に学ぶ、挑戦から得る情報や自信、コミュニケーション能力等、様々な力を向上させることは、人として成長する大きな要因となるはずで

私は、住む場所「地域」という身近な観点から、大学生時代に出来る事として、今の地域の現状について考えることにしました。また、私達若者の発想を活かしたい、という趣旨にも惹かれ、参加を決めました。実際に活動を行ってみると、向日市のようなベッドタウンとして発達してきた一つの小さな地域では、少子高齢化社会が大きな影響を及ぼしていることを、身をもって体感しました。そうした中で地域社会としてやるべき事は何なのか、「①地域を知る。②地域活動に参加する。③地域作りに挑戦する。」の順序を経て、考え実行することが出来ました。

私達の活動が、寺戸大牧地域活性化の一つの要因となることを願っています。そしてこの活動が寺戸大牧地域という観点からだけでなく、様々な角度から捉えた時に、多くの方々が地域活動について考えるきっかけになれば幸いです。

今回このような取り組みをさせていただいた、向日市社会福祉協議会、寺戸大牧自治会、大牧ハッピーチルドレン、そして関わり協力してくださった方々のおかげで私達の活動は無事に終えることが出来ました。この場を借りて、お礼申し上げます。



1998年7月19日生まれ。
福岡県筑紫野市出身。

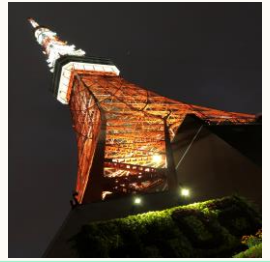
佐野 優太

立命館大学理工学部
電気電子工学科3回生

活動を通して、寺戸大牧地域住民の皆様の優しさを感じることができました。自治会の皆様も社協の木下さんも寺戸大牧地区住民の皆様もとても温かく、私自身楽しんで地域活動に参加させていただくことができました。夏祭りでは、寺戸大牧地区の一体感を感じることができました。私もとても楽しい時間を過ごさせていただきました。

また、私達学生が主体となって行った、『寺戸大牧敬老の日大作戦2019』、寺戸大牧地域防災ワークショップ『一心』の2つのイベントでは、多世代間の交流を目的に掲げ企画を遂行しました。この企画を機に、他にもイベントが増えて交流がもっと深まれば幸いです。

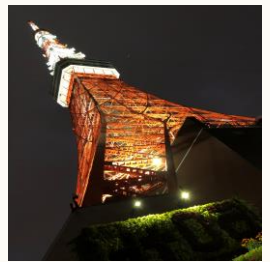
改めまして、寺戸大牧地区の地域作りに参加させていただきありがとうございます。インターンシップ期間中、とても充実した時間を過ごしました。このインターンシップ活動で得られた経験を、今後の人生の糧にしていきます。



社会福祉法人
向日市社会福祉協議会
事務局次長兼地域福祉課長
木下 博史

【顔写真】
東京タワーの部分に大きさを合わせて、入れてください。

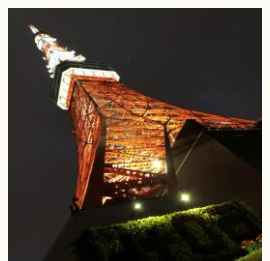
【コメント】
名前の下の部分に収まる長さ
をお願いします。
(HGS教科書体) 横書き



寺戸大牧自治会会長
佐々木 和隆

【顔写真】
東京タワーの部分に大きさを合わせて、入れてください。

【コメント】
名前の下の部分に収まる長さ
をお願いします。
(HGS教科書体) 横書き



立命館大学
サービスマーケティング
センター
秋吉 恵

【顔写真】
東京タワーの部分に大きさを合わせて、入れてください。

【コメント】
名前の下の部分に収まる長さ
をお願いします。
(HGS教科書体) 横書き



社会福祉法人
向日市社会福祉協議会

〒617-0002 京都府向日市寺戸町西野辺1-7 向日市福社会館内
TEL : 075-932-1961
FAX : 075-933-4425
MAIL : chiiki@muko-shakyo.or.jp
<http://muko-shakyo.or.jp>